

住人十色

第157回

出られなかった仲間の思いを胸に 小学生の相撲大会で全国3位入賞

大野 真優さん(内子小6年)＝内子17＝



◎「今はお母さんに感謝。続けてきてよかった」と3位入賞の盾を見せてくれた大野さん。練習場の六日市自治会館で。

「第25回全日本小学生女子相撲大会」が10月2日、京都府で開かれ、大野真優さんが3位入賞を果たしました。

「もう1勝したかった」と悔しさをにじませる大野さん。3人の姉の影響で4歳ごろから相撲を始めて、その背中をずっと追いついてきました。「第20回大会で姉が準優勝だったので、それを超えるのが目標だった」と悔しさの理由を話します。また、「昨年はコロナの影響で大会が中止になり残念だった。私は今年出られたけれど、去年の6年生はとても悔しかったと思う。そういう仲間のことを考えながら挑んだ大会だから」とも。

たくさんさんの人が練習相手になってくれたり、応援してくれたりしていたので、その期待に応えたかったそうです。

「最初はお母さんに無理やりやらされた」と苦笑いしながらも、「しんどい練習を続けるうちにどんどん目標ができて、達成する喜びを知った。全国大会にも出られて、自信にもつながっている」と振り返る大野さん。今は残りの大会に向けて練習に励んでいます。「足が浮いて投げられやすいので、腰の低い相撲が取れるようにしたい。県内でいつも負ける子がいるので、諦めずに頑張って、最後は勝ちたい」と思いを語りました。

編集 幸記

▽私の好物はきゅうりのぬか漬。コンビニでも買えますが、やはり母の味にはおよびません。特集の大野さんを真似て、ぬか床を分けてもらおうと思いましたが、もう作ってないとのこと。

衝撃の「失くしてからでは遅い」を体感です(裕)▽栗農家のわが家では、栗が入ったおすしが「ふるさとの味」。初物が取れたときはちらずし、小学校の運動会はいないし。少し特別な日のごちそうで、いつも食べ過ぎてしまいます。あーお腹すいたー(史)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

